

The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 小林 祖承
〒520-0113 大津市坂本 4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

令和2(2020)年12月1日 火曜日
(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



広報天台

11月16日、阿部新内局発足

和合と本末一如の精神で

杜多道雄宗務総長の辞任に伴う宗務総長選挙の選挙会が11月16日に行われ、阿部昌宏・九州東教区観音院住職が選出された。阿部師以外に候補者はなく、無投票当選となった。17日には天台宗務庁議場で宗務総長・参務任命式が挙行され、森川宏映天台座主下より阿部新宗務総長と6人の新参務に辞令が親授された。任期は令和6年(2024)11月16日までの4年間。

このたびの宗務総長選挙は、杜多道雄宗務総長が10月2日に辞任したことを受けて実施されたもので、退任より45日以内に選挙を行うとの選挙規程に則り11月16日に選挙会が行われた。

令和3年3月の任期満了を待たずに辞任について杜多宗務総長は、「一次年度予算編成や宗祖伝教大師一千二百年大遠忌を控え、次期内局の

宗務運営に支障が及ばないよう配慮した」と述べた。

任命式は午前10時から宗務庁議場で営まれ、延暦寺内局随喜のもと森川座主下を大導師に法楽を厳修。続いて阿部新宗務総長、参務6人に辞令が親授された。

森川座主下は「明年には伝教大師一千二百年大遠忌を迎える。天台宗をまとめ、世の中をリードし、伝教大師の

み教えが多くの方々から信仰されるようお願い」と、阿部内局へ期待感を示された。阿部新宗務総長は、任命式後の記者会見で、「これまで

の参務執務経験を活かし、全国3千力寺、宗徒、檀信徒、一般社会の人びとの興望にこたえるべく、宗祖大師のみ教えをもとに、本末一如、本山護持、そして和合で宗門発展のために不惜身命、全力を傾注し職務に当たる所存」と決意を述べた。

新内局の略歴

総長(天台宗代表役員)
部長(天台宗責任役員)



宗務総長
あべ しょうこう
阿部 昌宏

昭和22年生まれ。73歳。九州東教区観音院住職。宗議会議員、参務・財務部長、参務・総務部長2期



総務部長
こばやし そくしょう
小林 祖承

昭和23年生まれ。72歳。延暦寺一山止観院住職。宗議会議員、参務・総務部長



法人部長
あまい りょうしゅん
甘井 亮淳

昭和24年生まれ。70歳。九州西教区大善寺住職。九州西教区宗務所長、参務・財務部長



財務部長
ふなと しゅんごう
船戸 俊宏

昭和36年生まれ。58歳。茨城教区如意輪寺住職。茨城教区第1部主事、宗議会議員



教学部長
いわた しんりょう
岩田 真亮

昭和32年生まれ。63歳。信越教区領法寺住職。信越教区伊那部主事、教区宗務副所長、宗務所長



社会部長
しばた しんしょう
柴田 真成

昭和26年生まれ。69歳。東海教区高田寺住職。教区宗務副所長、教区布教師会会長、宗務所長



一隅を照らす運動
総本部長
たけうち じゅんしょう
竹内 純照

昭和32年生まれ。63歳。京都教区吉祥院住職。京都教区第1部主事、教区議会議員、一隅を照らす運動理事

極微

少子高齢化社会である日本は、経済成長主義から、経済縮小へと舵を切るべきだとの意見がある。経済成長による発展志向は、担い手となる青壮年たちが減っている現状では無理があるのでは、という考えだ▼さらには、グローバル資本主義の広がりで、世界的な経済格差の拡大が見過こせない問題となっており、世界の各地域では抗議の意思表示が目立ってきている。日本も同様に格差拡大の傾向を見せている▼日本国内の雇用状況をみても、非正規労働者の割合が増加の一途で、安定した生活が保障される正社員も人員削減に向かっている。生きる糧を得るのに必死にならざるを得ない社会に段々となってきたり、ゆるやかに、心ゆたかにの

は増えてくるかも知れない。経済的豊かさを第一として、ひたすらお金を求める生き方がよいのか、お金はなくては貧しくとも、心が豊かである生活を第一とするのか。これからは双方の価値観がせめぎあってくるかも知れない▼事実、都会での便利な生活に見切りをつけ限界集落といわれそうな田舎での生活に踏み出す人たちも出てきている。収入は目に見えて減っても、ゆつくり、ゆったり、心ゆたかにの